

## スタートアップ創出プログラム



6月11日、スタートアップ創出プログラムのキックオフイベントが開催されました。このプログラムは本気で起業を目指す塾生を対象としており、参加者は6ヶ月間かけて自分自身と向き合いながらビジネスを作り上げます。今年度は13名の塾生が参加することになりました。市長からは「全庁をあげてサポートしていくので、調べたいことなどがあれば担当課に相談して欲しい」と心強いお言葉をいただきました。

12月の発表に向けて、全員が最後まで脱落することなく走り抜けて欲しいと思います。

## おためしイノベーション富谷（OIT）

### 大亀山森林公園での実証事業開始

利用者の伸び悩みが課題の一つである大亀山森林公園の実証実験が6月19日より開始しました。

9月19日までの実証期間は管理棟「亀亀館（もしもしハウス）」にアート作品が展示され、芝生広場にはミニギャラリーが設置されます。バーベキュー場のWEB予約も可能になり、利用しやすい環境が整いました。さらに7月と8月にはバーベキューイベント、アートふれあい体験、アプリ製作体験、人気ケータリングカーの出店などが予定されています。

アーティストによってペイントされた亀たちも必見です。皆さんもぜひ足を運んでみてください。詳細は右のQRコードから特設サイトをご覧ください。

おためしイノベーション富谷（通称：OIT）とは、「行政・民間企業・住民（富谷塾生等）」の協働により、行政課題や地域課題に対して民間のサービスやテクノロジーを活用し、最適な解決策の検証を行う事業です。



## 塾長ミーティング開催

今年度1回目の塾長ミーティングが6月27日、市長室にて開催されました。4名の塾生が参加し、塾長である若生市長にアドバイスをいただきました。飲食店の起業に関して相談した鈴木まり子さんは、「ビジネスについての勉強は本などでいくらでもできますが、起業経験があり現場を知っている市長の生の声を聞くことができ良かったです」と話してくれました。

次回の塾長ミーティングは8月を予定しています。



# 目指すは一般化！ IOT がもっと身近に感じられる 世の中を目指して

おのでら よしひろ  
小野寺洋大さん

アオバテクノロジー株式会社 代表取締役



TOMI+2 階にあるシェアオフィス。どんな人が入居しているかご存知ですか。今回はアオバテクノロジー株式会社の代表取締役の小野寺洋大さんにお話を伺いました。

『「こんな製品があったらいいな」と誰かが思ったとき、それを実現できる人になりたいんです。』そう話すのは、アオバテクノロジー株式会社代表取締役の小野寺洋大さん。2020年11月にソフトウェア開発の仕事で独立し、その傍ら、やりたかったハードウェアの事業を開始しました。

作っているのはIOT機器。例えば、設定した時間になるとチャイムが鳴る「チャイムスピーカー」や、スキー場のリフト乗り場でチケットの有効期限をチェックする「ゲートシステム」などがあります。内ヶ崎作三郎記念館に試験的に設置されている、センサーで通過した人数がわかる「入場カウンター」も小野寺さんの製品です。

プライベートでは自分の子どものためにラジコンを作ったり、ドローン作りにチャレンジしたこともあるそうです。今まで作った作品を笑顔で説明してくれる姿からは、モノづくりに対する熱い思いが感じられました。

小学生の頃からコンピュータに興味を持ち、人生ゲームの職業もプログラマーを選んでいたというほどコンピュータ好きな小野寺さん。大学では電子回路について学びました。ハードウェア関連の仕事をやってみたいと思っていましたが、あえてソフトウェア開発専門の会社に就

職しました。「ハードを作るのにソフトと抱き合わせで作れるようになりたかった」と話します。

## 富谷塾で学んだことは人との 出会いの大切さ 思いを伝えることで協力者が現れる

今年で5期目を迎えた富谷塾。小野寺さんはその1期生です。塾長である若生市長の体験談や志が印象的だったと語ります。「それまで独立や起業というお金を中心に考えがちでしたが、人との出会いや、自分の思いを周囲に伝えることの大切さに気づかされました」。そして実際、人に思いを伝えることで協力者が現れました。当時勤めていたソフトウェア開発会社で小野寺さんが担当していた顧客が「今まで通り仕事をあげるから独立してみたら？」と、背中を押してくれたのです。勤務先との交渉もうまくいき、独立を決めました。

## 新しい事業がなかなか進まないジレンマ 話し相手がいることで気分転換に

現在、設立した株式会社では、前職から引き継いだソフトウェア開発業務と並行して自分のやりたかったIOT機器の開発を行っています。IOTの事業にもっと力を入れたいと思うものの、ソフトウェア開発だけで手一杯です。一人会社なので人手が足りず、だからといって人を雇うほどの余裕もなくジレンマを抱えているそうです。

そんな小野寺さんの気分転換のひとつ

がシェアオフィス内での交流です。小野寺さんは独立後にTOMI+2階にあるシェアオフィスへ入居しました。家から近くて登記ができることが決め手でした。入居者同士は仲が良いそうで、特に隣のブースに入居している男性とは、たわいのない話をよくしています。趣味の自転車やソロキャンプを始めたのも彼に誘われたことがきっかけでした。「気分転換に話せる相手がいるのはありがたいです」と小野寺さんは話します。

## 「あったらいいなを実現する人」として、 もっと身近なサービスにしていきたい

今やっている仕事はとてもマニアックなので、専門知識のない人にはなかなか理解してもらえません。それを世間に広め、一般化することが小野寺さんの夢です。現在は企業から依頼を受けてIOT機器を作っていますが、将来的には個人が気軽に利用できるような事業にしていきたいと考えています。自分では作れないけれど、発想を伝えれば作ってくれる人がいる、「こんなものがあったらいいな。じゃあ小野寺さんに頼んで作ってもらおう！」そんな未来を目指します。

### IOTとは

IOT(Internet of Things)「モノのインターネット」と訳されます。PCやスマートフォンだけでなく、モノがインターネットにつながることで、モノから情報を得たり、モノを遠隔操作できたりします。IOT機器の代表例はスマートキーやスマート家電など。